

海外だより Overseas Report



ブラジル県人会の一行も参加した南加県人会協議会のデイナー交流会

が、金沢市が一番多い。主な活動としては、浅野太鼓USAの事務所で、杵や臼をお借りして新春の餅つきをします。農産物生産加工販売の(株)六星(白山市)の協力で石川産もち米をついてできた餅はおいしいと好評です。当地に暮らす子どもたちも良き思い出になっています。

南加石川県人会

金沢市生まれ、富山市出身の元外務事務次官、谷内正太郎氏が1996年7月に在口サンゼルス総領事として着任

石川産米で新年の餅つき

されたのを機に富山県人会と合同で活動を始めました。98年にカリフォルニア州に住む石川縁者で「南加石川県人会」が正式に発足しました。

会員は約50人。若い人が多く、和気藹々の雰囲気。出身地は加賀から能登までいます

ロスの日本県人会と交流

5月頃から7月上旬にかけて、エンジェルス球場へ大谷翔平選手の応援に出掛けます。かつて松井秀喜さんがいた頃は、当県人会のバナー持参で集まり声援を送ったものです。5、6月には他の県人会と合同ピクニックに出掛け、11月には合同ボウリング大会で汗を流します。

【北垣戸和恵さん(七尾市出身、南加石川県人会長・南加県人会協議会副会長)報】

令和2年4月号

海外だより Overseas Report



石川県人会のプラハ訪問ツアーの一行と記念撮影

本に3年戻りましたが、08年に再びプラハ勤務。現在チェコ産業貿易省傘下のチェコインベストの顧問、09年から9年チェコ日本商工会の事務局長を歴任しました。

プラハ石川県人会

欧州の中心地にある古都プラハ。1999年から2003年まで現石川県人会長の石田寛人氏がチェコ大使として

石田チェコ大使赴任契機に

赴任されたのがきっかけで石川出身者が集まりました。県人会の正式発足は15年5月で翌年9月に石川県人会連合会の金沢大会に参加しました。

小生はデンソー勤務時代の01年にチェコ現地法人のトップとなり、退職後いったん日

ところがあり、カレル橋から川面を眺め犀川大橋から見た清流の流れを懐かしく感じます。「うつくしき川は流れたりそのほとりに我は住みぬ」といつも思いだします。

金沢に似た古都に5名集う

会員は現在5名、年数回の集いと、石川県だよりの配信など。昨年11月下旬に石川県人会ツアーの方々と交流しました。会員の発掘がなかなか難しく、石川県人の海外飛躍を願うばかり。友人知人のご紹介をお願いします。

【中越誠治会長(金沢錦丘高1期、金大OB)報】

令和2年5月号